

図表 2-12 階梯式配賦に用いた配賦基準

STEP 1 : 一次計上

注: 白色部分に計上されることを表している。

項目1	項目2	項目3	中央行政機関等		中央官庁等		地方自治体		大学・研究機関		医療・福祉		その他	
			単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額
経費科目	人件費等	128,144,264												
	人件費等	128,144,264												
	人件費等	128,144,264												
	人件費等	128,144,264												
	人件費等	128,144,264												

注: 白色部分に計上されることを表している。

STEP 2 : 二次配賦

注: 白色部分に配賦されることを表している。

項目1	項目2	項目3	中央官庁等		地方自治体		大学・研究機関		医療・福祉		その他	
			単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額
経費科目	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										

注: 白色部分に配賦されることを表している。

STEP 3 : 三次配賦

注: 白色部分に配賦されることを表している。

項目1	項目2	項目3	中央官庁等		地方自治体		大学・研究機関		医療・福祉		その他	
			単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額	単価	総額
経費科目	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										
	人件費等	128,144,264										

注: 白色部分に配賦されることを表している。

2.2. 特殊原価調査

特殊原価調査は、手術、検査、画像診断部門で実施されたサービスについて種類別に人件費、材料費といった資源投入量を把握することを目的に実施した。本調査研究では、特殊原価調査を通じて作成されたサービス種類別の資源投入量を等価係数と呼んでいる。

等価係数は、一般原価調査の三次配賦の際に中央診療部門に属している手術、検査、画像診断部門に計上されていた収益、費用を入院部門、外来部門に再配賦する際に配賦基準（係数）として用いている。

特殊原価調査の実施方法は以下のとおりであった。

2.2.1. 調査項目

特殊原価調査は、一次調査と二次調査で構成されており、それぞれ以下の項目についてデータ収集した。二次調査は手術ならびに院内検査、画像診断についてサービス種類別に該当部門以外の場所でそのサービスが実施されている割合について記入を求める調査である。

調査対象期間は、平成16年4月診療月分から平成16年12月診療月分の間で12月分から遡り提供可能な期間とした。

2.2.1.1. 一次調査

一次調査では、以下の3種類のデータ提供を求めた。

【手術に関するデータ】

データソース	データ内容	代替可能なデータ内容
手術台帳	関与医師数（麻酔医除く）	関与医師数（総数）
	執刀時間	手術時間（入室から退室まで）
	関与麻酔医数	関与医師数（総数）
	麻酔時間	手術時間（入室から退室まで）
レセプト・データ	関与看護師数	—
	診療科情報	—
	診療行為コード	—
その他	医療保険請求薬剤・特定保険医療材料の点数	—
	※医療保険請求外薬剤・材料の使用量	（手術1件ごとではなく） 該当月に手術室で使用した総量でも可

注：「請求外薬剤・材料の使用量」は把握可能な場合のみとした。

【給与費および薬剤・材料費に関するデータ】

データソース	データ内容	代替可能なデータ内容
人事部門	医師平均時給	各職種の平均月給および 法定勤務時間
	看護師平均時給	
	麻酔医平均時給	
用度部門	薬剤・材料購入価格	薬価に対する平均購入価格比率

注：平均時給・平均月給を計算する際の給与費は、賞与および法定福利費を含む。

【外部に委託している検査に関するデータ】

データソース	データ内容
外注会社の価格表	外注検査定価表 ※診療報酬点数区分Dコードとの対応関係を示したもの

2.2.1.2. 二次調査

○診療報酬点数の特掲診療料の区分に基づく、手術、検査、画像診断の各診療行為が、該当部門以外の場所で実施される割合を調査することを目的としている。例えば、「D206：心臓カテーテル法による諸検査」は、診療報酬点数表区分では「検査」に分類されているが、実施場所は、手術室であることが多い。

○こうした診療行為については、想定部門と異なる部門で実施された（通常される）割合について調査することによって、できる限り実際に費用が発生した部門に収益、費用を配賦するための調整係数を得ることを目指している。

【手術の実施場所に関するデータ】

	データ内容
診療行為別に該当病院で実施されたKコード別に回答	部門別の実施した（通常行っている）割合を記入

【院内で実施している検査に関するデータ（実施場所含む）】

データソース	データ内容	代替可能なデータ内容
診療行為別に該当病院で実施されたDコード別に回答	検査を実施する場所の内訳	主に実施する場所
臨床検査技士等に記入依頼	検査に関与するスタッフの職種と人数	検査に関与するスタッフの職種
	職種別の標準的な1回あたり検査時間	標準的な1回あたり検査時間 (開始から終了まで)

【画像診断に関するデータ（実施場所含む）】

データソース	データ内容	代替可能なデータ内容
医事部門	診断を実施する場所の内訳	主に実施する場所
診療放射線技士などに記入依頼	診断に関与するスタッフの職種と人数	診断に関与するスタッフの職種
	職種別の標準的な1回あたり診断時間	標準的な1回あたり診断時間 (開始から終了まで)

図表 2-13 特殊原価調査（二次調査票 例）

【第2次提供データ:シート記入イメージ】
黄色のセルにのみ入力

①手術の実施場所に関するデータ

コード No	診療行為	レセプト診療科				総件数	実施場所				
		A科	B科	C科	...		第1 手術室	中央 検査室	〇〇科	××科	西△階
K**1	〇〇処理	100	50	0		150	100%	0%	0%	0%	0%
K**2	××切開術	80	30	30		140	50%	0%	50%	0%	0%
K**3	△△顕微鏡検査	50	0	0		50	0%	100%	0%	0%	0%
...					

内訳が不明の場合、主に
実施する場所をご回答ください

場所名は入力ファイル①で記入した
貴病院の部門名・病棟名でご回答ください

レセプト・データをもとに当方で集計

貴病院にてご記入ください

②院内で実施している検査に関するデータ(実施場所含む)

コード No	診療行為	レセプト診療科				総件数	実施場所					標準的な関与スタッフ数			職種別・標準的な1回あたり検査時間				
		A科	B科	C科	...		中央 検査室	〇〇科	××科	東■階	西△階	...	医師	看護師	検査技士	...	医師	看護師	検査技士
D**1	〇〇検査	30	50	0		80	100%	0%	0%	0%	0%	0人	0人	1人	0時間 0分	0時間 0分	1時間 0分	0時間 0分	0時間 0分
D**2	××力学的検査	40	0	0		40	100%	0%	0%	0%	0%	1人	0人	2人	1時間 0分	0時間 0分	0時間 0分	1時間 0分	0時間 0分
D**3	△△ガス分布	0	20	10		30	0%	100%	0%	0%	0%	2人	1人	1人	0時間 30分	0時間 30分	0時間 45分	0時間 0分	0時間 0分
...													

内訳が不明の場合、主に
実施する場所をご回答ください

人数が不明の場合、
関与の有無のみご回答ください

職種別に時間が不明の場合、標準的な
検査時間（開始～終了）をご回答ください

レセプト・データをもとに当方で集計

貴病院にてご記入ください

③画像診断に関するデータ(実施場所含む)

コード No	診療行為	レセプト診療科				総件数	実施場所					標準的な関与スタッフ数			職種別・標準的な1回あたり診断時間				
		A科	B科	C科	...		放射線科	〇〇科	××科	東■階	西△階	...	医師	看護師	診療放射線 技士	...	医師	看護師	診療放射線 技士
E**1	〇〇診断	30	0	0		30	80%	0%	20%	0%	0%	1人	1人	1人	0時間 30分	0時間 30分	1時間 0分	0時間 0分	0時間 0分
E**2	××診断	10	5	10		25	100%	0%	0%	0%	0%	0人	0人	1人	0時間 0分	0時間 0分	0時間 30分	0時間 0分	0時間 0分
E**3	△△撮影	0	0	20		20	100%	0%	0%	0%	0%	0人	1人	1人	0時間 0分	1時間 0分	1時間 0分	0時間 0分	0時間 0分
...													

内訳が不明の場合、主に
実施する場所をご回答ください

人数が不明の場合、
関与の有無のみご回答ください

職種別に時間が不明の場合、標準的な
診断時間（開始～終了）をご回答ください

レセプト・データをもとに当方で集計

貴病院にてご記入ください

2.2.2. 等価係数の計算方法

手術、検査、画像診断の等価係数を作成した。等価係数は、人件費と材料費についてそれぞれ作成した。なお、検査については、検体検査を中心とした外部委託部分の検査は、検査委託費の定価を等価係数を等価係数として用いているため、人件費、材料費を合わせた資源投入量の比率となっている。院内で実施される検査については、人件費と材料費それぞれの等価係数を作成した。

図表 2-14 等価係数の種類

	種類		調査対象病院
手術	給与費等価係数		ABCDEFGHIJKL (計 12 病院)
	材料費等価係数		ABCDEFGHIJKL (計 12 病院)
検査	検体検査 (外部委託分)	外注費等価係数 (人件費+材料費合計)	ABCDEFGHIJK (計 10 病院)
	検体検査および 検体検査以外 (院内検査)	人件費等価係数	
		材料費等価係数	
画像診断	給与費等価係数		
	材料費等価係数		

2.2.2.1. 手術等価計数の計算方法

【手術・給与費等価係数】

例：K005（皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部））サービスの1回当たり給与費

$$= (\text{K005 サービスに医師が関与する平均的な1回当たり執刀時間} \times \text{医師時給}) \\ + (\text{K005 サービスに看護師が関与する平均的な1回当たり手術時間}^{**} \times \text{看護師時給}) \\ + (\text{K005 サービスに麻酔医が関与する平均的な1回当たり麻酔時間} \times \text{麻酔医師時給}) \\ + \dots$$

※当該病院で実施された全てのKコードについて上記と同じ方法により給与費比率を算出後、特定のKコードの給与費を1.00とし、他の手術サービスの給与費の比を出す。この値が等価係数（手術・給与費）である。

※※手術時間＝入室から退室までの時間

【手術・材料費等価係数】

例：K005（皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部））サービスの1回当たり材料費

$$= (\text{K005 サービスに1回当たり使用した請求薬剤費} + \text{特定保険医療材料費})$$

※当該病院で実施された全てのKコードについて上記と同じ方法により当該病院で実施された手術の材料費比率を算出後、特定のKコードの材料費を1.00とし、他の手術サービスの材料費の比を出す。この値が等価係数（手術・材料費）である。

2.2.2.2. 検査等価係数の計算方法

【検査・給与費等価係数】

例：D007（血液化学検査）サービスの1回当たり給与費

$$= (\text{D007 サービスに医師が関与する平均的な1回当たり検査時間} \times \text{医師時給}) \\ + (\text{D007 サービスに看護師が関与する平均的な1回当たり検査時間} \times \text{看護師時給}) \\ + (\text{D007 サービスに検査技師が関与する平均的な1回当たり検査時間} \times \text{検査技師時給}) \\ + \dots$$

※当該病院で実施された全てのDコードについて上記と同じ方法により給与費比率を算出後、特定のDコードの給与費を1.00とし、他の検査サービスの給与費の比を算出する。この値が等価係数（検査・給与費）である。

【検査・材料費等価係数】

例：D007（血液化学検査）サービスの1回当たり材料費
 =（D007 サービスに1回当たり使用した特定保険医療材料費）

※当該病院で実施された全てのDコードについて上記と同じ方法により検査の材料費比率を算出後、特定のDコードの材料費を1.00とし、他の検査サービスの材料費の比を算出する。この値が等価係数（検査・材料費）である。

※検体検査については外部委託先の定価表を用いて等価係数とした。

2.2.3. 画像診断

【画像診断・給与費等価係数】

例：E001（写真診断）の1回当たり給与費

=（E001 サービスに医師が関与する平均的な1回当たり画像診断時間 × 医師時給）
 +（E001 サービスに看護師が関与する平均的な1回当たり画像診断時間 × 看護師時給）
 +（E001 サービスに診療放射線技師が関与する平均的な1回当たり画像診断時間
 × 診療放射線技師時給）
 +・・・

※当該病院で実施された全てのEコードについて上記と同じ方法により給与費比率を算出後、特定のEコードの給与費を1.00とし、他の画像診断サービスの給与費の比を算出する。この値が等価係数（画像診断・給与費）である。

【画像診断・材料費等価係数】

例：E001（写真診断）サービスの1回当たり材料費

=（E001 サービスに1回当たり使用した特定保険医療材料費 + 同薬剤費）

※当該病院で実施された全てのEコードについて上記と同じ方法により材料費比率を算出後、特定のEコードの給与費を1.00とし、他の画像診断サービスの材料費の比を算出する。この値が等価係数（画像診断・材料費）である。

第3章 調査研究の結果

3.1. 一般原価調査結果

3.1.1. 病院別の収支計算結果（入院、外来、中央診療、補助・管理の各部門別）

病院別の収支計算結果を、入院、外来、中央診療、補助・管理の各部門別に示す。

三次配賦において手術、検査および画像診断の各部署に計上されていた医業収益、費用は当該病院で作成した等価係数を使用した上で原価計算を行った。

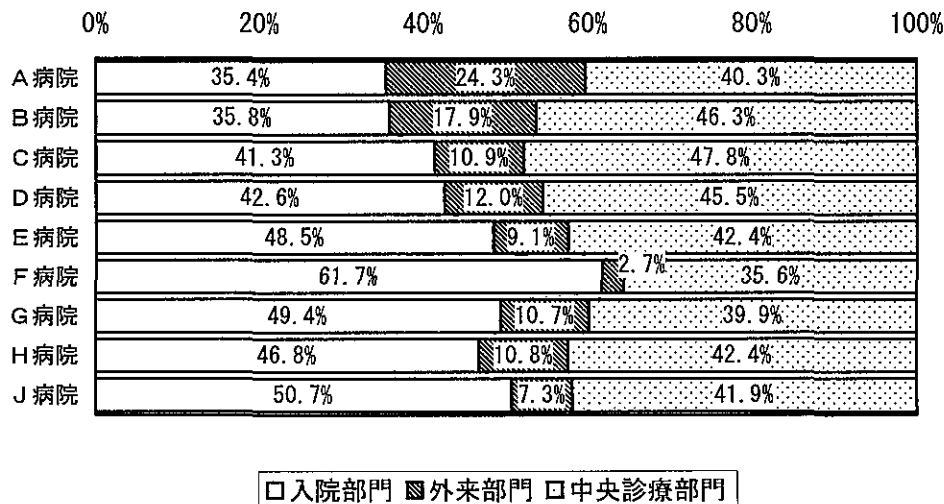
3.1.2. 一次計上結果

3.1.2.1. 医業収益合計

医業収益を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはF病院で、全体の61.7%を占めた。外来部門ではA病院の比率が最も高く24.3%であった。中央診療部門ではC病院が最も高く47.8%であった。

なお、F病院は、外来機能を同系列の診療所が担っているため病院としての医業収益比率が他病院と比較して低くなっている。

図表 3-1 一次計上結果（医業収益合計）

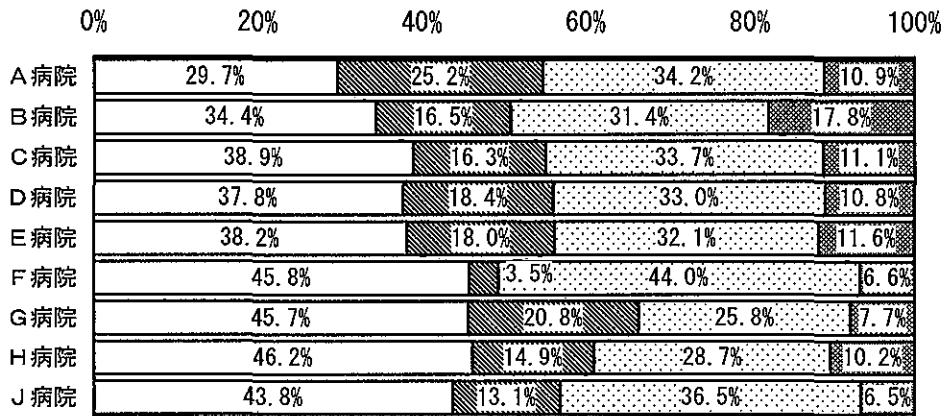


3.1.2.2. 医業費用合計

医業費用合計の構成比を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはH病院で、全体の46.2%を占めた。外来部門では、A病院の比率が最も高く25.2%であった。中央診療部門ではF病院が最も高く44.0%、補助・管理部門ではB病院が最も高く17.8%であった。

なお、F病院は、外来機能を同系列の診療所が担っているため病院としての医業費用比率が他病院と比較して低くなっている。

図表 3-2 一次計上結果（医業費用合計）

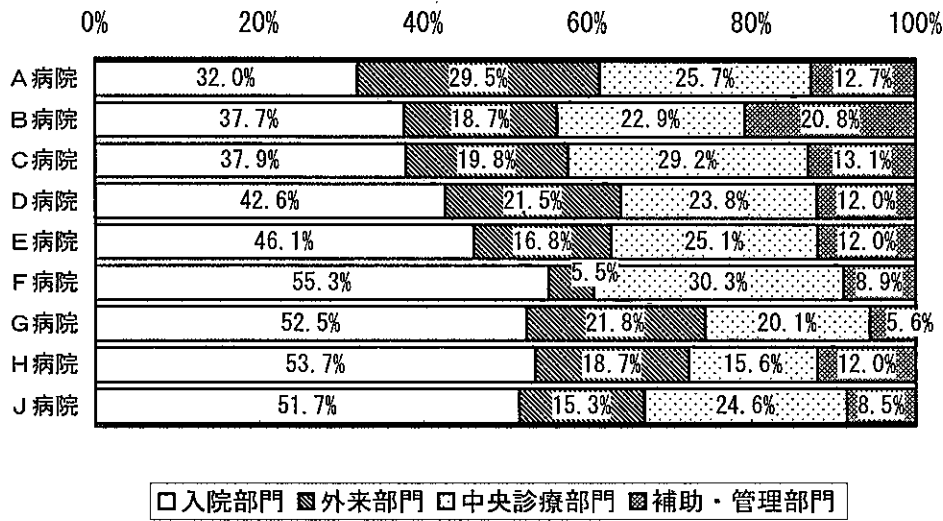


□入院部門 ▨外来部門 □中央診療部門 ▩補助・管理部門

(1) 給与費

給与費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはF病院で、全体の55.3%を占めた。外来部門ではA病院の比率が最も高く29.5%であった。中央診療部門ではF病院が最も高く30.3%、補助・管理部門ではB病院が最も高く20.8%であった。

図表 3-3 一次計上結果（給与費）



(2) 材料費

材料費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはC病院で、全体の45.8%を占めた。外来部門では、E病院の比率が最も高く28.7%であった。中央診療部門ではB病院が最も高く67.7%、補助・管理部門はいずれの病院もゼロであった。

図表 3-4 一次計上結果（材料費）

